

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回守谷市立学校給食センター運営委員会			
開催日時	令和2年11月19日(木) 開会：午後2時 閉会：午後3時05分			
開催場所	中央図書館 視聴覚室			
事務局(担当課)	学校給食センター			
出席者	委員	小田倉委員, 岩瀬委員, 木下委員, 鈴木委員, 越智委員, 須賀委員, 豊谷委員, 上田委員, 吉田委員, 寺田委員, 山口委員, 岡田委員, 永瀬委員, 平山委員, 古谷委員 出席15名/18名		
	事務局	町田教育長, 宇田野教育部長, 坂所長, 中尾係長, 影山管理栄養士ほか栄養教諭3人(黒崎, 黒島, 齋藤) 以上8人		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名	
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 委員及び職員紹介 5 協議事項 (1) 委員長の選任について (2) 学校給食センター事業について ① 昨年度事業概要について ② 改築事業について ③ その他 6 閉会			
確定年月日	会議録署名			
令和2年12月16日	委員長 永瀬 宗重			

審 議 経 過

1 開 会 (坂所長)

坂所長：本日は学校給食センター運営委員会へのご出席いただきましてありがとうございます。本日、15名の委員の皆様にご出席いただいております。学校給食センター運営規則第3条の規定の過半数を超えておりますので、会議は成立しておりますことご報告いたします。また、本日の傍聴者はいらっしゃいません。

それでは、ただいまから令和2年度第1回学校給食センター運営委員会を開催させていただきます。

2 委嘱状交付

坂所長：本来でありましたら、教育長から代表の方に委嘱状をお受けしていただきたいところですが、今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、人と人が接触するような行為はでききるだけ避けたいので、申し訳ありませんが、配布をもって委嘱状の交付とさせていただきたいと思っております。3年間の任期となりますが、皆様よろしくお願ひします。

3 あいさつ

町田教育長：今年は、新型コロナウイルスの関係で、イレギュラーなことが沢山発生し、学校も休校となり、一時はどうなることかと思ひました。守谷では新しい時代の新しい学校づくり、そういうことを黙々とやっています。それを支える保護者の皆様にも応援をくださっております。保護者の皆様には本当に感謝を申し上げます。給食センターに関しましては、子供たちにとっては、食は全ての基本となる場所ですので、このコロナ禍の難しい状況にあっても、子供たちのために安心・安全な給食を提供するため、細心の注意を払って給食の提供をしております。そんな調理員の思いもこもった給食であります。本日は、新しい給食センターの建設や、コロナ禍における給食の工夫なども報告されると思ひますが、皆様には忌憚のないご意見をいただき、前に進んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

4 委員及び職員紹介

自己紹介

5 協議

(協議事項1) 委員長を選任について

坂所長：それでは会議次第に従ひまして議事に入ります。委員長が選任されるまで、町田教育長に議事進行をお願いいたします。

町田教育長：協議事項1、委員長の選任を行います。給食センターの設置及び職員に関する条例で委員長は委員の互選とすると規定されております。どなたかお引き受けいただける方、または、ご提案のある方いらっしゃいますか。

(委員から提案は無し)

町田教育長：事務局で案はありますか。

坂所長：永瀬先生にお願いすることを提案します。

町田教育長：ただ今、永瀬先生にお願いしたいとのご提案がありました。

(拍手有り)

町田教育長：永瀬先生いかがでしょうか。お引き受けいただけますか。

永瀬委員：大丈夫ですよ。

町田教育長：お引き受けいただけるということですので、お諮りします。

委員長を、永瀬宗重先生にお願いするということですのでよろしいでしょうか。よろしければ拍手でご承認をお願いいたします。

(拍手多数)

町田教育長：それでは永瀬先生よろしくをお願いいたします。こちらにご移動いただき、ご挨拶をお願いします。

(永瀬委員長，席を移動)

永瀬委員長：ただ今委員長に選ばれましたが、病気であまり大きな声が出せなくて申し訳ありません。私は腎臓病と高血圧で、食事ということが非常に絡んでくる領域です。また娘は糖尿病の専門医で、食事とは切っても切れない縁があります。そんな意味でも、給食センター運営委員会の委員長をしっかりとやりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(協議事項) 会議録への発言者の記載について

坂所長：議事に入る前に、この運営委員会の会議録について、皆様にご協議いただきたいことがあります。当委員会の会議録は、市のホームページで公開しております。公開される本日の会議の会議録に、発言者の氏名を記載して良いかどうかについて、ご協議いただきたいと思います。ここから、永瀬委員長に議長をお願いいたします。

永瀬委員長：ただいま、事務局から説明がありましたとおり、公開する本日の会議の会議録につきまして、発言者の氏名を記載することの是非について協議をいたします。

坂所長：参考ですが、昨年度までは全て発言者の記載をしております。特に支障がなければ記載させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

永瀬委員長：皆さん、それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声有り)

永瀬委員長：では載せましょう。

坂所長：それでは、会議録に発言者の氏名を記載させていただきます。引き続き議事進行をお願いします。

(協議事項2) 学校給食センター事業について

① 昨年度事業概要について

事務局から資料に基づき報告がなされ、質疑応答が行われた。

【主な報告内容】

- ・給食を通して学べる工夫や正しい食習慣の指導について
- ・食物アレルギーの対応
- ・衛生管理について
- ・施設管理について
- ・新型コロナウイルスに関連する給食センターの対応等について

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の説明に対して、質問がある方は挙手をしてください。

<今年度の給食費の徴収について>

永瀬委員長：8月は給食費を無料にしたということですが、5月とか6月の給食費はどうなっているの。

坂所長：給食を提供していない月は徴収していません。

中尾係長：4月は1日だけ、始業式の時に提供したのですが、それは6月の月額に含めました。従いまして4月分は徴収しておりません。前年度の3月分を既に徴収しまっている場合は、今年度の初めのどこかの月に充当することになっています。この場合、守谷の中で進学しなかった方には返金しております。

<食材の寄付による会計への影響について>

永瀬委員長：色々寄付をしていますが、会計的にはどうなんですか。

坂所長：3月の食材で処分した分は合計で414,806円の食材を処分せざるをえなかったわけですが、この処分したものに対して国から4分の3は補助金をいただくことができました。残りの4分の1は地方交付税で算定してもらえるということになっています。

永瀬委員長：給食センターとして赤字にはならないの。

坂所長：使えなかった食材をまるまる無駄に捨ててしまっているという状況にはなっていないということです。

永瀬委員長：ほっけの切身1,000個やハンバーグ300個ということだけど、40万で賄えているの。

坂所長：寄付は、処分には入っていません。

影山栄養士：ホッケの切身で、1匹150円くらいだったと思います。

永瀬委員長：そうですか。

<常陸牛の提供について>

永瀬委員長：国からの補助で常陸牛を出すということは最近やっていることなの。

坂所長：本日は奥久慈しゃもです。お配りしております2ページ目の献立表をご覧ください。常陸牛や奥久慈しゃもの献立がありますが、こちらは助成制度を活用して、食材を無料で仕入れて提供しております。A5ランクの牛肉を使用したすき焼きです。

永瀬委員長：贅沢だね。来年、試食ができるようになったら食べてみたいね。

坂所長：畜産農家の緊急支援対策事業なので、来年あるかどうかは…。

町田教育長：委員の皆さんは給食は食べたことはあるでしょうか。

坂所長：PTAの皆さんはいかがでしょうか？

(「試食会でいただいたことがあります。」の声有り)

町田教育長：機会があれば委員の皆さんに守谷の給食を賞味してもらって…。

坂所長：本来は、この会議の後に試食を毎年やっていますが、今年は、コロナの関係と改築工事により駐車場が無いという2つの理由から試食会は行わないこととしました。

町田教育長：学校で食べてもらうことはどうか。

坂所長：学校で試食会の企画をしていただければPTAの皆さんには提供させていただきます。

<学校臨時休業後の給食センターの対応について>

越智委員：けやき台中学校の越智です。この場をお借りましてと申しますか、新型コロナウイルスの関係で学校が臨時休業となり、給食センターに非常にご迷惑をおかけしました。学校も臨時体制で春先を過ぎました。4ページに簡易な給食と書いてありますが、配膳の衛生面に対して我々は危惧していたところがあり、なるべく簡単に配膳することができないかということ給食センターで検討していただいたということがあります。それから通常給食を再開するに当たっては、短い期間でお願いすることがあったにもかかわらず、給食センターで柔軟な対応をしていただいたということがありまして、学校側は非常に助かりました。今後何が起こるかわかりませんが、一緒に連絡を取りながらお願いできればと思います。

坂所長：簡易な給食については、保護者の方からお叱りを受けたこともございました。通常の献立はできていたので、そのまま提供できれば仕事は増えなかったのですが、国の指針もありまして、急きょ、栄養教諭の先生に徹夜で作っていただき対応させていただきました。このようにお褒めの言葉をいただき、大変励みになります。ありがとうございました。

永瀬委員長：そのほか、何かありますか。

(委員からの発言無し)

永瀬委員長：では次に進んでください。

② 改築事業について

事務局から資料に基づき報告がなされ、質疑応答が行われた。

【主な報告内容】

- ・改築の背景
- ・契約の選定方法
- ・進捗状況について
- ・今後のスケジュールについて

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の説明に対して、質問がある方は挙手をしてください。

(質疑無し)

永瀬委員長：では次に進みます。協議事項3，その他をお願いします。

(協議事項3) その他

事務局から次の説明がなされ、質疑応答が行われた。

【説明内容】

- ・学校給食費の値上げの見送りについて

(要旨)

学校給食費につきましては、年々市の財政支出が増え続けていることから、昨年度の委員会で来年度に給食費の見直しのご協議をお願いしたいと依頼をし、同意を得たところでありましたが、昨年度末から新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な業界に影響が出ております。このような状況の中、保護者の負担を考えると、給食費の値上げについては見送りたいと考えています。しかしながら、年々、物資は値上げしており、市の財政負担は膨れ上がっているのが実態なので、新型コロナウイルスの影響による社会情勢を見ながら、しかるべきタイミングで値上げをご提案させていただきたい。

- ・放射性物質の測定について

(要旨)

給食センターで調理する食材の放射性物質の検査につきましては、平成24年4月から毎食行っておりますが、今までに検出されたことはありません。事業費は国からの補助金が充てられているが、市の担当窓口の経済課に確認したところ、国は令和3年度で補助を終了する予定だとのことでした。放射能測定については、給食の測定のほか、一般の方の持ち込みや、保育所の給食の食材も検査しているので、関係機関・団体等と協議をしな

がら、補助金の終了とあわせて終了するか、あるいは市独自で予算化して継続するかの検討していきます。

・調理員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応について
(要旨)

調理員が新型コロナウイルスの感染が発覚した場合、次のような対応となることが想定されます。

調理員の陽性が当日の午前中に発覚した場合は、調理は停止いたしますので、給食センターからの調理品の提供は中止となります。ただし、ご飯と牛乳は届けられますので、ご飯の場合はふりかけを用意することを考えています。翌日につきましては、濃厚接触者の状況にもよりますが、場内消毒のため休業となることが想定され、2日目もご飯とふりかけになるのかなと思います。以降については従事できる人数によりメニューを減らして提供となります。調理に従事できる人数は、PCR検査後に濃厚接触者が特定されてからの対応ということになるので、急きょの対応となることが想定されます。校長先生や保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の説明に対して、質問がある方は挙手をしてください。

<放射能測定について>

永瀬委員長：放射能の測定はどのようにやっているの。

坂所長：Aブロック、Bブロックの献立があるのですが、それぞれ、混ぜ込んだものを検査しております。

永瀬委員長：毎日検査しているの。

坂所長：毎日行っています。

永瀬委員長：食材はいろいろあると思うが、それぞれでやっているの。

中尾係長：AのおかずはAのおかずだけ、BのおかずはBのおかずだけで、Aで1回、Bで1回測定しております。

坂所長：測定には20分くらいかかるわけですが、現在の測定機は放射線量で10ベクレル以上から測定されます。国が示す食品基準値は100ベクレルになっております。それで、今までに10ベクレルを超える結果は出たことがありません。

宇田野部長：調理した1食分を検査していると考えていただければと思います。食べる状態のものを、2献立それぞれ検査をして、今まで検出されたことが無いということです。10ベクレルというのは機械の検出限界値で、それ以下は検出できないんです。国から用意された機械がそのような性能のものですが、それで今まで一度も検出されたことが無いということです。平成24年からやっていますが、2献立を毎食、そのような形で行っています。

永瀬委員長：予算のこともあると思うが、測定機なんて、そんなに高いものではないんじゃないの。

宇田野部長：お金のことですが、機械をまず国からお借りしているというかたち

です。それから検査をする人件費も補助していただいております。これだけの年数をやっていると、メンテナンスをしないと精度が狂ってしまいますので、メンテナンスを毎年行っておりますが、費用も数十万かかっている状況です。それと人件費がかかります。それで、10年が経過してくると機械自体の耐用年数がありますので、そういう全体を含めて検討をしないといけないと思います。単純に継続という問題ではなくて、機械の問題、計測する人の問題、それから補助金の問題もあるので、そういうものも含めて検討していくということでございます。

永瀬委員長：止めるか続けるかということですね。

宇田野部長：そういうことです。1食分を測定しているわけですが、そもそも材料は市販品ですので、皆さんがスーパーで買ってというものと基本的には同じものを提供しております。市場の流通状況を信頼するのであれば、既に安全なものが販売されているという考え方が十分できると思います。ただ、そうは言っても子供たちが食べるものなので念のため確認した方がいいだろうというのが今の状況です。そういうことも含めてこれから検討させていただくということですよ。

永瀬委員長：それはどこで決めるの。

宇田野部長：市で決めます。それから外部で検査をされる方、それから市だけではなく、民間の保育所の食材も検査しております。そういうところともお話をしないといけないと思いますので、そういうことも含めてこれから検討させていただきたいということです。

永瀬委員長：それこそこの会議で話し合っただけで決めるのが筋ではないですか。

坂所長：おっしゃるとおりです。当然、止める場合は、審議会に報告をして承認を得てからと考えてます。

宇田野部長：委員長がおっしゃるように、段階だと思います。スタートはここで話し合いをいただいて、それを踏まえて検討していくというのが普通の考え方でしようというご意見だと思います。ですから、ここではそういう検討がこれから始まるので、ご意見をいただけたらと思います。

永瀬委員長：それはいつまでに決めるの。

坂所長：来年度の予算編成までですと、来年度の今くらいまでに方針を固めたいと思います。

永瀬委員長：そうすると、皆さんの意見をこの場で言っておいた方が良いと思います。どうでしょうか。

坂所長：補足ですが、2012年からということですから機械が限界に近いということと、検査キットが特別なものなので、いくらするのかわかりません。それから人件費は約120万円弱です。

永瀬委員長：人件費は外部に払っているの。

坂所長：いえ、市で臨時職員を雇っています。そこに補助が付いているということです。ちなみに、つくばみらい市ではだいぶ前に止めています。

永瀬委員長：放射能事故があった時には騒がれましたがね。あのような事故が起こった時にまた考えるということもあるよね。

坂所長：一つ紹介させてください。守谷生まれの食品で、今年から新しくレンコンを給食に取り入れています。生産は守谷沼で行っていますが、放射能の検査結果は検出されていないという報告は受けています。

永瀬委員長：そういうことであれば、私は止めてもいいと個人的には思っていますが、皆さんはいかがでしょう？

町田教育長：来年に決めればいいんでしょう。

坂所長：はい、来年度の予算編成時期までに決めたいと思います。

永瀬委員長：わかりました。

<調理員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応について>

永瀬委員長：そのほか、何かありますか。

小田倉委員：高野小学校の小田倉です。先ほど、給食センターの職員が感染した場合の話がありましたが、このことを学校の職員へ話ができるのですが、保護者への案内等は給食センターから出していただけるのでしょうか。

坂所長：今、通知の内容を検討中で、近々、各学校のご協力をいただいて出したいと考えております。

永瀬委員長：この問題は身近に起こりそうですね。

6 閉会

永瀬委員長：そのほか、何かありますか。

(委員からの意見は特になし)

永瀬委員長：では、これで終わりにします。

坂所長：では、以上をもちまして給食センター運営委員会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。